

静岡市清水区感染症発生動向

2015年 8週

集計期間 2/16-22

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症			2											2	
咽頭結膜熱						1								1	
溶連菌感染症			1		1	2	2	1				2	3	12	
感染性胃腸炎		2	8	6	4	7	9	8	5	5	7	30		91	
水痘				2		1		2		1				6	
手足口病															
伝染性紅斑					2	1		3						6	
突発性発疹			1											1	
百日咳															
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎															
麻疹															
風疹															
マイコプラズマ															
髄膜炎															
MCLS															
小児科Flu		1	1		3	4	9	3	6	3	3	11	1	45	
小児科定点総数 164 増減 19 前週比 113.1% 定点当たり 27.3 病院:開業医 7:157 増減 -2:+21															
内科Flu												2	1	8	11
インフルエンザ総数 56 増減 -25 前週比 69.1% 定点当たり 6.2 小児科:内科 45:11 増減 -16:-9															

総数164、前週の113%と、増加です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比147%、定点当たり15.1と5割増です。

2位は、インフルエンザ、前週比73%、定点当たり順調に減少です。

3位は、溶連菌感染症、前週比100%、定点当たり2と流行中です。

4位は、伝染性紅斑、前週比150%、定点当たり1とこれも地味に流行中です。

同数で水痘も、定点当たり1で4位です。

以下は、定点当たり1未満ですが、

RSウイルス感染症2名、咽頭結膜熱1名報告です。

内科も含むインフルエンザ前週比69.1%と減少、小児5内科3の8/9定点からから報告、内科定点は、前週比55%とほぼ半減、小児科定点は、前週比73%と減少です。型報告のあったうち5定点から計9名B型の報告があり、B型の比率が上がってきました。

2/22小児科休日当番では、61名来院、インフルエンザ8名、全てA型。

感染性胃腸炎8名、溶連菌感染症4名、アデノウイルス感染症1名との御報告でした。